



©Katsuhiko Ichikawa

Profile

ヘーデンボルク・トリオ

長男・和樹（ヴァイオリン）、次男・直樹（チェロ）、三男・洋（ピアノ）のオーストリア・ザルツブルク出身の兄弟によるピアノ・トリオ。スウェーデン人の父（ヴァイオリニスト）と日本人の母（ピアニスト）のもとに生まれ、それぞれ両親から音楽の手ほどきを受ける。長男・和樹、次男・直樹はウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の正団員として活動するほか、室内楽の演奏活動にも積極的である。幼少の頃より各々デュオでの共演を重ね、2012年にトリオとしての活動を開始。2016年秋に三兄弟の日本滞在が重なったことが契機となって話がまとまり、2017年に初来日ツアーの念願が叶った。同じ家庭に育ち、価値観や感覚を共有していることから生まれる言葉を越えた絆は、兄弟にしかできない息の合った親密な演奏に繋がっている。また一方で三人三様の持ち味がバランスよく表現され、そこから生み出される豊かなハーモニーは今後さらに色彩を益すことと期待される。



ウィルフリート・和樹・ヘーデンボルク（ヴァイオリン）

6歳から父についてヴァイオリンを習う。ルジェーロ・リッチ、ヴェルナー・ヒンクに師事。2001年にウィーン国立歌劇場管弦楽団、04年よりウィーン・フィルハーモニー管弦楽団に入団。コンクール優勝歴多数。オーストリア連邦省より勲章を受章。



ベルンハルト・直樹・ヘーデンボルク（チェロ）

ハインリヒ・シフに師事。12歳でザルツブルク・モーツァルテウム管弦楽団と共演してデビュー。コンクール優勝歴多数。ウィーン・トーンキンスラー管弦楽団首席を経て、2011年ウィーン国立歌劇場管弦楽団、14年よりウィーン・フィルハーモニー管弦楽団に入団。



ユリアン・洋・ヘーデンボルク（ピアノ）

5歳でヴァイオリンとピアノを始める。6歳でザルツブルク・モーツァルテウム大学に最年少で合格し、12歳でウィーン国立音楽大学に入学。コンクール優勝歴多数。中でも、マディラ・ファンシヤル国際音楽コンクールではピアノ部門と室内楽部門の両方で優勝している。